

< セミナーのご案内 >

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 285 (通算 615 回)

2015 年 3 月 10 日 (火)

最終点検・合意形成に向けて――

大学ガバナンスの進化と諸規則改訂 II

～ 私学法 (理事長・理事会・監事) と学長/学長・補佐体制と教授会/学長選考・評価 ～

- ※ 改正学教法と私学法との関連/経営・教学からみたガバナンス改革/学校法人制度の強み
- ※ 何のための大学ガバナンスか?/大学ガバナンスは機能しているか?/ガバナンスを拓く
- ※ [武蔵野大] 理事会の危機感/学長選挙の廃止/学内諸規則・内規等の先行改訂/残された課題
- ※ [大妻女子大] ガバナンスの要諦/諸規則改訂の経緯/変えたこと、変えないこと
- ※ [総合質疑] 最終点検、そして合意形成/文科省担当者が規則改訂の“?”に応える

● 講師陣 ●

永山 裕二 氏 / 文部科学省 高等教育局 私学部 私学行政課長
 本間 政雄 氏 / (学) 梅光学院 理事長 大学マネジメント研究会 会長
 寺崎 修 氏 / 武蔵野大学 学長
 荻上 紘一 氏 / 大妻女子大学 学長
 白井 俊 氏 / 文部科学省 高等教育局 大学振興課 課長補佐

2015 年 3 月 10 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2015 年 3 月 10 日 (火) 10:00~16:40

会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 40,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
41,000 円 (送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。

※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 285

大学ガバナンスの進化と諸規則改訂 II

2015 年 月 日

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込

必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____

FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:00	<p>□ 私立大学ガバナンス改革に向けて ～ 改正学校教育法と私立学校法との関連 ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 永山 裕二</p> <p>1. 私学経営面の観点からのガバナンス改革 (1) 平成16年私立学校法改正 (2) 平成26年私立学校法改正 (3) 学校法人制度の特色 ～他の公益法人制度との比較～</p> <p>2. 私学教学面のガバナンス改革 (1) 今回の学校教育法等改正のポイント(理事会・監事の責務を含む) (2) 内部規則の総点検、見直し (3) 学長選考・評価の仕組み</p> <p>3. 今後の課題 〈質疑応答〉</p>
11:10 } 12:30	<p>□ 私立大学の多様なガバナンス—理事長・学長・監事の協働 ～ 何のためのガバナンス/機能しているか/ガバナンスを拓く ～</p> <p style="text-align: right;">(学) 梅光学院 本間 政雄</p> <p>1. 何のための大学ガバナンスか? (1) 効率的・効果的意思決定の実現 (2) 迅速な意思決定の実現 (3) 利害関係者の理解・納得・共感の獲得 (4) 社会的説明責任を果たす大学運営</p> <p>2. 大学ガバナンスは機能しているか? (1) 意思決定に膨大な時間がかかる (2) 利害関係者の反対が予想される課題の先送り (3) 「価値中立」的、調査分析・企画・立案が弱体、問題意識が欠落した事務局 (4) 「基点」たるべき学部執行部の当事者意識の欠如 (5) 教員出身理事の専門知識、決断力、権限・責任の欠如 (6) 評議員会の形骸化 (7) 監事の機能不全</p> <p>3. 大学ガバナンスを拓く (1) 多様な私立大学を担う人財ご縁の妙 (2) 理事長、学長、理事、学部長の選任・役割・機能 (3) 学外理事及び監事に人財を得る 〈質疑応答〉</p>
	<p>□ <ケーススタディ> 改訂経緯・論点/新旧対照/合意形成</p>
13:30 } 14:30	<p>A. [武蔵野大] ガバナンス進化と諸規則改訂 ～ 大改革を可能にしたもの ～</p> <p style="text-align: right;">武蔵野大学 寺崎 修</p> <p>1. 改革力の源泉 (1) 理事会の危機感～改革具体案の作成 (2) 単科大学からの脱却</p> <p>2. 学長選挙の廃止 (1) 男女共学化 (2) 有明キャンパスの開設 (3) 総合大学化をめざす</p> <p>3. 改正学校教育法への対応 (1) 理事会と教授会の役割分担 (2) 学内諸規則・内規等の先行改訂 (3) 今次の改訂事項</p> <p>4. 残された課題 〈質疑応答〉</p>
14:40 } 15:40	<p>B. [大妻女子大] ガバナンス進化と諸規則改訂</p> <p style="text-align: right;">大妻女子大学 荻上 紘一</p> <p>1. 私立大学のガバナンスの要諦 2. 今次の諸規則改訂の経緯 3. 変えたこと、変えないこと 〈質疑応答〉</p>
15:50 } 16:40	<p>□ 総合質疑～最終点検・合意形成に向けて</p> <p style="text-align: right;">司会 □ 高等教育計画経営研究所 青野 友太郎 回答者 □ 文部科学省 白井 俊</p> <p>1. 寄附行為及び学則関連 2. 常務理事会・理事会・評議員会・監事関連 3. 学長及び学部長の選任・評価・退任関連 4. 教授会(全学・通則/学部/代議会) 関連</p> <p style="text-align: right;">5. その他</p>